

牧区地域協議会だより

令和2年12月25日発行（第50号） 発行：牧区地域協議会

牧区地域協議会の活動状況

■ 5月15日（金）

○第1回牧区地域協議会

・会長及び副会長の選任 等

■ 5月24日（日）

○第2回牧区地域協議会

・令和2年度地域活動支援事業の
ヒアリング

■ 6月23日（火）

○第3回牧区地域協議会

・令和2年度牧区地域協議会委員
視察研修について

■ 6月25日（木）

○牧区地域協議会だより第49号発行

■ 7月21日（火）

○第4回牧区地域協議会

・「公の施設の再配置計画」の策定
について

■ 9月6日（日）

○視察研修

・牧歴史民俗資料館（宮口古墳）
・地域活動支援事業実施箇所
・牧区危険箇所、指定棚田地域

■ 9月29日（火）

○研修会

・「公の施設の再配置計画」につい
て

■ 10月20日（火）

○第5回牧区地域協議会

・牧ふれあい体験農園の休止について

■ 10月23日（金）～10月30日（金）

○地区懇談会参加

■ 11月24日（火）

○第6回牧区地域協議会

・第2回牧区町内会長連絡会議の開
催結果について

■ 11月25日（水）

○地域協議会会長会議（直江津学びの
交流館） 西山会長出席

・令和3年度地域活動支援事業の概
要について 等

視察研修報告①

折笠 忠一

今年度の牧区地域協議会視察研修は、新
型コロナウイルスの影響により、牧区内に
おいて9月6日に実施されました。

研修は、牧区の歴史を知るため「牧歴史
民俗資料館」での上越地域全般にわたる古
代史の学習から始まりました。委員の中に
「高校生の時に宮口古墳群の発掘に参加
した」という方がおられ、より身近に印象
深く学ぶことができました。

続いて、牧区に点在する危険箇所の説明
を聞き、急傾斜地と民家が隣接する現状を

目の当たりにしました。

次の視察先は、地域活動支援事業実施
箇所です。初めに「沖見地区観光拠点づ
くり事業」を視察しました。荒地を整備
してコスモス庭園を造り、見晴らし台も
設置したとのことでした。「将来的には山
頂まで整備し、展望台を構築したい」と
意気込んでおられました。二番目は、「岩
神城趾遊歩道整備事業」です。春日山城
との関係や年一回実施される「のろし上
げ」について、町内会の方々から説明し
て頂きました。三番目は、「上牧番所整備
事業」です。視察当日は講師を招いての
講演会が開かれており、大勢の方が興味
深そうに聴講されていました。

昼食は、深山荘
にて地元の旬な料
理に舌鼓を打ち、
午後は「小川公園
整備事業」から再
開です。見晴らし
の良い場所で芝張
りまで完了してお
り、「将来的には
保育園児の散歩コースにしたい」とのこ
とでした。更に移動し、「川上会館整備事
業」を視察しました。川上地区協議会の
方々は「国登録有形文化財である木造合



掌造りの建物を活かした催しを定期的に開催したい」と話されていきました。最後に、泉地区の「指定棚田地域」を見学し、視察は終了しました。

今回の視察を通して、牧区にも良い所や観光の拠点となりうる場所が沢山あることを知り、併せて、地元の皆様が更にそれを盛り上げていこうとする熱意を感じる事ができました。引き続き、頑張つて頂きたいと思えます。こんな素晴らしい牧区を、皆様も是非、散策してみたいかがでしょうか。

視察研修報告 ②

坂井 雅子

本協議会では、今後の地域活動支援事業に係る審査業務の参考とするため及び委員の資質向上を図り見識を広げるため、当該事業を活用して整備された施設と区内にある「公の施設」等の視察を、去る9月6日に実施しました。視察先は、牧歴史民俗資料館、区内の危険箇所、地域活動支援事業実施箇所(危険看板設置事業、沖見地区観光拠点



づくり事業、岩神城趾遊歩道整備事業、上牧番所整備事業、小川公園整備事業、川上会館整備事業)、泉地区の「指定棚田地域」となり、沢山の事業と地域を見学させて頂きました。日曜日にもかかわらず、各事業担当者や地域の方々が集まってくださり、わかりやすい説明や報告を受けました。有難うございました。

危険看板については、子どもの目線に合わせた低い看板となっており、よく考えて設置されていると思いました。



危険箇所については、牧区の特長でもある急傾斜地が多く、いつ地滑りが起きてもおかしくない箇所もあったため、今後も定期的に点検する必要があります。また、豪雨による河川の増水や土石流による災害の危険性も感じました。

続いて、地域活動支援事業実施箇所についてです。沖見地区の活動は、場所も見晴らしも良く新たな観光スポットになると思っていますので、今後の活動に期待したいです。岩神・小川町内会の活動については、もつと多くの方に知って頂き、来てほしい場所だと思えました。上牧町内会・川上地区協議会の活動は、牧区の素晴らしさを県内外へ広げ、大きな輪を作っているように感じました。

棚田地域の活動についても、田園風景が綺麗に輝いている様子は圧巻です。是非、継続して頂き

たいと思います。

区内唯一の温泉宿泊施設「牧湯の里深山荘」の存続が問題になっていますが、創意工夫をこらし多くの皆さんに利用して頂けるよう努力したいと思えました。

牧区には自然が多く、その恵みもあります。魅力ある牧区にするため、もつと打って出る行動が必要だと思います。例えば、「牧区地域おこし実行委員会」を設置し、特産物の開発やイベントの企画により都市部の参加を広く呼び掛けるなどです。企業とも交流し、資金援助が受けられるような牧区にできれば活気づくと思えます。皆さんの力も借りて牧区を盛り上げられるよう努力していきたいと思えました。

編集後記

今年も残りあと僅かとなりました。今年には新型コロナウイルスの影響により、東京オリンピックの開催延期や高校野球甲子園大会の中止など、様々な行事が中止となりました。日本でも感染症の「第3波」が到来し、多数の感染者が発生しています。このような状況の中、感染のリスクと隣り合わせで奮闘されている医療従事者の方々には、感謝の言葉しかありません。先の見えない闘いに勝つべく、今は新型コロナウイルスや季節性インフルエンザに感染しないよう、うがいや手洗い、マスクの着用など「新しい生活様式」を徹底し、予防に努めましょう。「必ず春はやってきます。」それまで皆さん、がんばりましょう。

編集委員 小黒 誠